

令和7年度 第1回名取市スポーツ推進審議会 会議録

- 日時 令和8年3月23日（月）午後1時30分～午後2時55分
- 場所 名取市民体育館 第一会議室
- 出席者数 出席委員7名（福井真司委員、星忠一委員、加藤かほる委員、浅川輝彦委員、桃井恵美子委員、庄司昇委員、安部久美子委員）
欠席委員2名（佐藤克也委員、熊谷みち委員、）
事務局7名（教育長 鈴木博幸、教育部長 山家ちとせ、文化・スポーツ課 課長 堀籠純子、課長補佐 佐藤旭一、スポーツ振興係長 板橋一成、主事 富田しおり）

会議概要

1 開会 進行：佐藤文化・スポーツ課長補佐

2 あいさつ

○ 鈴木教育長

年度末のご多忙のところ、審議会に参加いただき大変ありがとうございます。

皆様には、日頃からスポーツ振興に対してそれぞれの専門的な立場から、多大なるご指導とご助言を賜っております。厚く御礼を申し上げます。

本日の審議会では、令和8年度の生涯スポーツの振興事業案を提案させていただきます。

また、現在策定を進めております、名取市体育施設整備方針など本市のスポーツのあり方についてご協議をいただく場でございます。資料として配布したアンケートには、市民よりウォーキングや体操といった身近な場所での健康づくりのニーズが非常に高く寄せられております。また一方で、スポーツ団体の皆様からは、会員の高齢化や指導者不足といった、運営面の課題を挙げられました。さらには、既存施設の老朽化、屋内運動施設の充実を求める声もいただいております。

本日はこれらの資料を基に、忌憚のないご意見をいただき、充実した協議になればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○ 福井会長

本日は年度末のご多忙中にお集まりいただきまして大変ありがとうございます。

先日、冬季オリンピック、パラリンピックが開催され、胸を打ち、感動する場面もあり、改めてスポーツの偉大さや、夢や目標を持つことの大事さを感じた次第です。我々がどういう立場なのかを考えると、子供たちの未来に関わるスポーツの話をするのも大切な事だと思った次第です。

また、ワールドベースボールクラシックでは残念なことがありました。これは結果ではなく、地上波で放送されなかった事です。こういった夢とか目標を大事にする事を、子供たちが見る機会が無くなっていいものなのだろうか、と思われました。

ただ、一方で我々の時代と異なり、スポーツは見る側、支える側共に、お金がかかるのが当たり前前の時代になってきております。そのため、我々世代の感覚を少し変えねばならない、また加えね

ばならないところもあります。委員の皆様におかれましては、これまでの経験・経緯はもちろんのこと、さらに新しい視点や発想なども賜りたく、本日、短い時間ではあるかと思いますが、積極的なご意見をもって、名取市の未来、良くするためのきっかけにさせていただけることをお願いしたく、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◇ 会議成立の確認

名取市スポーツ推進審議会条例第6条第2項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言。

3 会議録署名委員の指名

会議録署名委員について、慣例により輪番制としている。星忠一委員と庄司昇委員の2人を指名した。

◇ 会議公開の確認

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱(以下、要綱)第2条により、公開の対象となる旨を告げる。要綱第4条により原則公開であること、会議の議事録については概要筆記とし、委員名は伏せた形で記載することを確認した。

7 議題

(1) 報告事項

- ① 令和7年度スポーツ振興事業について
- ② 名取市社会体育施設長寿命化計画について
- ③ 令和8年度教育基本方針生涯スポーツの振興について

(2) 協議事項

- ① 令和8年度スポーツの振興事業(案)について
- ② 名取市体育施設整備方針について

議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 報告事項について

- ① 令和7年度スポーツ振興事業について
 - ・資料1～8ページについて事務局より内容を説明した。

〈質疑応答・意見〉

委員：3,4ページの参加数について、R5との記載があるかR6の誤りでないか。

事務局：ご指摘のとおり。

委員：指標毎の参加者数の合計が分かると思う。また、1ページの実績値についても、概算や予測値でもよいので令和7年度の数値も記載すると思う。市民のスポーツ実施率について別紙資料のアンケート結果によると、41.6%の方が実施していると回答している。このアンケートの結果とスポーツ推進計画における、市民のスポーツ実施率が一致するという事であれば、令和5年度に比べると6%弱増えている。

委員：スポーツ推進計画における、市民のスポーツ実施率目標値の50パーセントを実現するためにも、さらにどのような事をやっていくのか、アンケートを読み取ることによってヒントが得られると思う。どのような施策をもって、数値が向上しているか事務局なりの考えがあるか。

事務局：令和6年度から令和7年度にかけて、スポーツ協会の委託事業である教室の内容や対象、種目について検討して頂いたことも、参加者数の伸びに繋がったかと思う。

委員：市民体育館へのエアコン仮設置について。安全対策にも繋がり、快適な環境で活動ができ、大変嬉しく思っている。他の施設でも、このような対策が今後必要だと思ふ。推進していただきたい。

国民スポーツ大会東北ブロック大会兼第52回東北スポーツ大会が名取で開催され多くの方に集まっていた頂き、高いレベルを楽しむことができたのではないかと思う。そういった意味で、このような大会を開催することは大変意味があると思う。スポーツ推進計画における、①体育施設利用者数の目標値を達成するためにも、大会を誘致できるような施策を今後も積極的に進めると、体育施設利用者数の増加に繋がると思う。

委員：大会を誘致し体育施設利用者数の増加を図ることは、地域の活性化という意味で大変重要に思うが、スポーツ推進計画で述べている目標値は、名取市民を対象としたものか、市外の方も含んだものなのか。優先すべきは名取市に来てもらう事なのか、名取市民の運動実施率を上げることなのか。

資料における実績値は市内外の利用者を合わせたものか。

事務局：市内外の利用者の計である。

委員：承知した。スポーツ推進計画については、市民のスポーツ実施率を上げる、ということが最優先なのではないか。すると、体育施設の利用者数の数字にあまり左右されてはならないように思う。地域活性化という意味で、大会を開催することは大切であるが、目標としていることは市民のスポーツ実施率を上げる事である。

今、運動している方々の満足度を上げるのか、運動していない方々が運動する場に参加してもらうのか。興味はあるが運動していない方と運動嫌いの方々たちでは違うアプローチの仕方があると思う。これらの点を整理しつつ、我々は貴重なデータを大事にしつつ見極める必要がある。

提案時に数字があると納得していただけるということも多い。数字を出すことはとても大事であるが、集め方や、どのような母集団であるのか、今後のアンケートで、検討して欲しい。

② 名取市社会体育施設長寿命化計画について

・別冊『名取市社会体育施設長寿命化計画』について事務局より内容を説明した。

〈質疑応答・意見〉

委員：目標使用年数について、8ページで管理棟・名取市民体育館・市民球場メインスタンドが60年間となっているが、15ページでは市民体育館が74年となっているのはなぜか。

事務局： 13 ページの名取市民体育館の長寿命化に記載のとおり、名取市最大の体育施設であることから、改修工事などの費用対効果を考えながら利活用可能なうちは可能するものとした事と、今後市役所庁舎の建て替え時期も含めて考える必要もあることから74年としている。

委員： 調査結果で60年となったのであれば、それを前提にした計画のほうが良いのではないか。市民体育館は雨漏りもしているの、前倒しで計画すべきではないか。

事務局： 目標使用年数については、1次調査、1次評価をし、その施設の状況を見ている。8ページの下に、図表：安全性・機能性の評価があり、A B C Dの評価区分ごとに目標使用年数が機械的に表されている。

雨漏りについては、15ページ記載のとおり令和13～14年ごろ、屋上・外壁工事を予定し、屋上の防水工事を大規模に行う事を予定している。これらの修繕により長寿命化を図ろうと考えている。

建て替え時期は全く未定であるが、市役所庁舎と市民体育館は大きな区画とし、その時期を見据え整合性をとって進めていこうと考えている。

委員： 名取市体育施設長寿命化計画の18ページに長寿命化修繕計画が記載されているが、スポーツ推進審議会資料の13ページ、1-5 均衡のとれたスポーツ環境の充実の記載内容とで整合性が一部とれない。整合が取れる形とした方がいいのではないか。

委員： 長寿命化計画を策定した段階では、市民体育館の玄関前タイル張り舗装修繕を令和11年度に実施しようと考えていたが、計画策定後の予算調整で実施時期を精査し、景観への対応を早急に行うこととなった。このようなズレがあることはご了承ください。

委員： 前倒しで対応いただくのはありがたい。改定したら改定に合わせて報告いただければ整合性が取れて良いと思う。

③ 令和8年度教育基本方針生涯スポーツの振興について

- ・資料9～10ページについて事務局より内容を説明した。

〈質疑応答・意見〉

委員： 令和7年度との違いはあるか。

事務局： 変更なし。

(2) 協議事項

① 令和8年度教育基本方針生涯スポーツの振興（案）について

- ・資料11～17ページ事務局より内容を説明し、原案のとおり承認された。

〈質疑応答・意見〉

委員： 市民体育館エアコンの設置について。5月頃から30度近い気温になり、熱中症指数が高くなる場合もある。早い時期に稼働できるよう検討して欲しい。

事務局： 新年度予算となる為、4月以降でないと言予算執行できない。その間、契約等の手続きを進めるが時間が必要なため、6月が最短と考えている。可能な限り早く稼働で

きるよう努力する。

委員：そのような事情があるのはやむを得ないが、検討していただきたい。

また、仮設のエアコンは費用対効果も含めてどうなのか。例えば、冬季はボイラーを使用し暖房を入れるが、ボイラーを運行するのにボイラー技士が必要となる。また、ボイラーの老朽化もひどい。このような点も含めて、総合的に仮設と常設、どちらが良いのか検討頂きたい。

事務局：今年度、来年度はリース対応でエアコンを設置するが、令和9年度には常設することを検討しており、設計依頼をする予定である。令和9年度エアコンを稼働できるように準備を進めている。ボイラーの調子が悪いという事もあり、設備を整えばエアコンで暖房も稼働させることが可能かと検討している。電気設備関係については時間を要するため、令和9年度に稼働できるようなるべく早く着手したい。

委員：予算的には問題ないのか。

事務局：設計委託料については、議会で予算を認めていただいている。

委員：生き生きスポーツクラブについて。前期・後期と分けるという事だが、この件は参加者からも参加人数を増やせるようにして欲しいという声を頂いているので、是非その方向で実施して欲しい。

事務局：承知した。

委員：令和7年度と同じ内容というところだが、とても重要なことにも関わらず現場を見ていない中で判断せざるを得ない。

例えば、先ほど稼働率の話ではないが、何か判断材料となるものがあると自信を持って判断できると思う。今後の要望としてとらえていただければと思うが、何か数字等の判断材料があるような資料としてほしい。

事務局：資料の表記について検討する。

委員：ニュースポーツ用品の整備について、内容が令和7年度と同じであるが間違いないか。

事務局：間違いない。

委員：スポーツ資源を活用した賑わいの創出については難しいところもあると思うが、その進捗状況がわかれば教えてほしい。取組みの方向性に、多くの市民の観戦を呼びかける、とあるがどのような方法で行う予定か。

事務局：夏休み期間に実施する事もあり、小中学生をはじめとする子供たちに多く来て欲しいという団体の想いも聞いている。周知方法は、市のホームページ、広報紙、SNSを考えている。

委員：14ページの学校施設開放事業について。2月に説明会も開催頂き感謝する。多くの人が利用できるように検討していただき嬉しく思う。

高館・増田体育館が使用できなくなり、使用できる施設が少なくなっている中、学

校を利用していただいているが、卒業式、学習発表会といった時期になると、夜間でもなかなか利用できない。実際、増田西小学校では2月末頃から3月中旬まで全く使用できなかった。活動場所を探したが見つからず、活動を中止せざるを得なかった。色々な準備のために使用できないというのは理解しているが、例えば椅子に関して言えば、団体で一度撤去し、活動終了後原状復帰することとしたら利用可能なのではないか。なるべく利用できる機会を多くしていただきたい。

委員：既存施設の有効活用については、恐らく、部活動地域展開等、別の会議でも検討されると思う。機会があれば、学校活用方法もその場でご検討いただければと思う。

② 名取市体育施設整備方針について

- ・資料10 ページ及びアンケート結果（市民・団体）について事務局より内容を説明し、原案のとおり承認された

〈質疑応答・意見〉

委員：総合スポーツ施設とはどのようなものをいうのか。

事務局：総合スポーツ施設を大まかにご説明すると、施設を集約し再整備をすること。例えば十三塚公園に陸上競技場があるが、このまま維持していくのか、新たに何かほかの競技もできるようにし、広い土地に移転した方がよいか、といった意見を伺いたくアンケートを実施した。

委員：新たな大型施設という事で承知した。アンケートの回答で『わからない』と回答した方は、必要性の有無が分からないのか、総合スポーツ施設というものがわからないのか判断できないのではないか。

委員：スポーツに関わっていない人が設問を見たときに、何のことかわからないかもしれない。

委員：アンケートをどのように解釈するかどうかが、『わからない』という回答は除いて考えるのも1つかと思う。アンケートを実施する際、設問の仕方も含め、『わからない』という回答が無いように、作成時に説明を付けた方がいいと思う。

委員：設問が難しいと、アンケートを回答してもらえないこともあるので注意すべき。1度アンケートを実施したことは重要であるので、今後、他のアンケートを実施するときは、設問の仕方、表現も留意頂きたい。アンケート結果は何か施策を実施する際の後押しになることも多いので重要である。

委員：アンケート（市民）についてだが、この母集団をどのような市民と捉えて良いのか。例えば、運動が好きな市民、高齢の市民、中高年の市民なのか。どのような人をターゲットに運動の実施率を上げていくのか、ということを考える必要がある。運動をしている、していない、好き、嫌い等の要素もクロス集計した上で検討していくと、より市民の意見を反映させることに繋がると感じる。今回の、アンケートの特徴として、やむを得ないが、運動している人たちの意見と捉えてよいのか。男女比や年齢も含め、今後はそういった項目も追加し、実施していただきたい。

委員：名取市体育施設整備方針について、【令和8年度業務】(3)成果品作成とはどのようなものか。令和8年度までの3年間で策定期間となっているので、来年3月までには成果品として整備方針と再編計画ができるということか。

事務局：(1)社会体育施設の整備方針と(2)社会体育施設の再編計画を含めて、名取市体育施設整備方針とし完成させる。

9 閉会 浅川委員

以上、会議の顛末を記録し、正当なることを証すため、ここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名委員

印

会議録署名委員

印